

ふるさと会アンケート結果 (抜粋)

【性別】 男性・57人 女性・38人 合計・95人

【年齢】 20歳代・3人 (男1、女2) 50歳代・45人 (男20、女25)
 30歳代・7 (男7、女0) 60歳代・17 (男14、女3)
 40歳代・14 (男8、女6) 70歳代・9 (男7、女2)

Q. 「ふるさと会」へ出席されたご感想は?

- (1) 是非また来たい 51人 (男35、女16)
 (2) たまには来てみたい 39 (男22、女17)
 (3) もう来たくない 0 *わからない1人、無回答4人

Q. 今後「ふるさと会」をどのように開催したらよいと思いますか?

- (1) 半年に1回・5人 (4) 3年に1回・2人
 (2) 1年に1回・71 (5) 4年に1回・0
 (3) 2年に1回・16 (6) その他・0 *無回答1人

Q. 「大館市」にどのようなイメージをお持ちですか? (重複回答)

- (1) 遠い ・42人 (6) 暮らしやすい ・7人
 (2) 暗い ・17 (7) 米、酒がおいしい ・51
 (3) 雪が多くて寒い ・31 (8) 美人が多い ・25
 (4) 火事が多い ・7 (9) その他 ・9
 (5) 自然が豊かである ・53

Q. 将来、大館市 (周辺市町村) へ戻る (Uターンする) お考えはありますか?

- (1) はい・23人 (2) いいえ・71人 *無回答1人

く変わろうとしている今日、まず市民の意識改革から始め、二十一世紀への市の青写真を作る必要があるでしょう。自然の恵まれた素材、伝統的・歴史的産物を市民全員で再発見し、大館カラーを出すように努めてほしい。

(武蔵野市・渡辺昭一・60歳代)
 「物を作る地域」としてほしい。物の交換・消費を主とするのでは発

展を望めません。産業の確立が第一だと思います。

(千葉市・畠山忠一・60歳代)
 あれこれやろうとせず、一点だけでも全国で大館にしかないというものをやってほしいです。また、残すべきものの価値をまず考え、そこから発想していくことが大切だと思います。

(青梅市・川村俊介・40歳代)

会を結成し運営することにおいてはもちろん、地域の活性化の方策についても、そこに人材を得られなければ画餅に帰す確率が高からうと考えます。人材を探し当てる目は、持つにも育てるにも難しいはずですが、広く情報を集め、思考をやらわかにして対処なされれば、必ずや良い結果に結び付くと思います。将来の発展を祈ります。

(匿名・60歳代)

ふるさと会結成おめでとうございます。大館を離れて十年こちらで仕事をしていますが、何度も戻ろうかなと思いましたが、しかし、魅力ある職種が少ないということであきらめ、また、現在の仕事を目標を持って頑張ろうという気持ちになりました。これからも、「これからの大館」は、若手の力を伸ばしていくべきだと思います。若輩ではありますが、現在大館で頑張っている若者の今後の活躍を期待し、応援していきます。

(川崎市・田村千代子・20歳代)

私のように大館を離れ、東京など大館以外の地で生活している人がいっぱいいると思います。大館市の人口が毎年減少していると聞いています。高校を卒業して仙台、東京等へ出ていく若者が多いと聞いています。若者にとって生活しなくなる、また楽しい、魅力ある市をつくらせていただきたいと思っています。協力します。

(中野区・佐々木歴山・30歳代)



◀ 再会を誓い、万歳三唱で閉会しました



▲ 抽選会では大館の物産が景品でした